

| | |
|------------|--------------|
| 学校名 | 所沢市立中央小学校 |
| 所在地 | 所沢市並木8丁目4番地 |
| 電話 | 04-2995-5631 |

1 本校の概要

本校は、「～昨日より今日、今日より明日へ～大人も子供も「学びと成長」を大切にするチーム中央小」を目指して、日々教育活動を行っている。

また、PTA活動や学校応援団活動を推進すると共に、積極的な情報公開を行い、地域に開かれた学校を目指している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

① 読書に親しむ態度の育成

- ・ 朝の読書タイム
毎週水曜日の朝を読書タイムと設定し、学校応援団による読み聞かせを実施している。
- ・ 隙間読書の推進
読書の習慣化をねらいとし、始業前の隙間時間には、読書をすることを推進している。
- ・ 図書時間の設定（1～3年生）
週に1時間、図書の時間を設定し、本の貸出だけでなく、自由読書の時間、学校司書による読み聞かせも行っている。
- ・ 長期休業中の本の貸出
夏休み…1人3冊 冬休み…1人2冊の貸出

・ 図書委員会の活動

ア 推薦図書の紹介

図書委員会が推薦する本の紹介を図書室に掲示している。

イ 読書月間の取組

- ・ 読書の木の実施
- ・ 月間内に多くの本を読んだ児童の紹介
- ・ 図書委員会推薦図書、本の良さの紹介（児童集会）

ウ イベントの開催

- ・ 短冊祭り
- ・ 本の福袋
- ・ 市立図書館司書によるブックトーク（1～3年生）

② 親しみやすい図書室の工夫

- ・ 壁面飾り

学校応援団の協力のもと、図書室の壁面に季節の飾りを装飾している。

- ・ 書架整理

利用しやすい環境づくりのために、図書委員会の活動の一環として、位置づけている。

- ・ 新刊コーナーの充実

児童が、新しい本が入ったことに喜びを感じ、図書室へ来室したくなるよう、新刊コーナーの充実を図っている。



読書の木



学校司書による読み聞かせ

3 成果と今後の課題

(1) 成果

様々な取組により、昨年度に比べ、貸出冊数が増加している。特に、図書室の新刊コーナーを充実させることは、児童の読書に対する意欲を高めている。また、読書月間の「読書の木」の取組は、自分の成果を視覚的に把握することができることもあり、多くの本に出会うよい機会となった。特に、低学年では、読書への意欲が高まった。

(2) 課題

読書が苦手な児童へのアプローチを工夫していく必要がある。読書が苦手でも手に取りやすい本の紹介を積極的に行ったり、読書の良さを伝えたりするなど、より多くの児童が本に親しめる環境を整えていきたい。